

## 1. 研究テーマ

脱炭素型熱化学的資源化技術の開発及び環境汚染物質の排出制御に関する研究

## 2. 所属

国立環境研究所 資源循環領域

## 3. 募集人数

テニュアトラック型任期付研究員またはテニュアトラック型任期付主任研究員1名（ただし、応募者の業績・経験により任期の定めのない研究員（主任研究員級以上を含む。）としての採用もありうる。）

## 4. 研究及び業務内容

資源循環領域では、廃棄物・資源循環分野の脱炭素化に資するリサイクル技術やその技術システムの実装を目標に、熱分解やガス化による様々な廃棄物（廃プラスチックからバイオマスまで）の熱化学的資源化技術を開発している。今後、それらの実装を目指す上で、廃棄物に含まれる、もしくは非意図的に生成する有機フッ素化合物（PFAS）等の環境汚染物質がリサイクルの阻害物質となることから、環境汚染物質の制御に関する研究にも同時に取り組む必要がある。

応募者はリサイクルの技術開発と環境汚染物質の挙動解明・制御の研究を融合的に進展させることを目標に、資源回収性向上や環境汚染物質の排出抑制の視点で燃焼工学や化学工学の手法による実験的な技術開発を行うとともに、実験結果を反応速度論に基づく解析を行い、反応モデルの提案、さらにはリサイクル物の収率及び環境汚染物質の排出削減に関するプロセスを高度化することに従事する。また、中長期的には、反応速度論による解析をベースに当領域が進める、他の脱炭素型の廃棄物処理・資源化処理技術及び環境汚染物質の排出対策へ貢献する。さらに、開発技術及びその技術システムの社会実装を強く意識し、システム系やリスク系研究者との緊密な連携を通じて、それらが物質フローや環境負荷へ及ぼす効果を定量化することも期待される。

（業務の内容 変更の範囲）

国立研究開発法人国立環境研究所が行う、研究及び研究に付随する事務業務全般

## 5. 応募資格

以下のすべての要件を満たすこと。

- (1) 採用時点で博士以上の学位を有すること（採用時に学位取得見込を含む。）、あるいは同等の業績や能力を有すると認められること。
- (2) 研究内容に関連する機械工学、化学工学、環境工学等のいずれかにおいて高い専門性を

有し、顕著な研究業績（国際誌に複数の原著論文掲載など）を有すること。

- (3) エネルギー変換を含む資源化技術開発の実績（主に熱化学的な技術の開発など）および環境汚染物質等の挙動解明や制御に関わる実績を有すること。加えて、技術システムの環境影響評価（LCA 等）の実績があることが望ましい。
- (4) 研究に必要な日本語によるコミュニケーション能力と研究成果発信能力（日本語検定 N1 レベル相当以上）を有すること。
- (5) 「4. 研究及び業務内容」に示す研究について独立して主体的に推進する能力を有すること。加えて、任期の定めのない研究員（主任研究員級以上を含む）の場合は、「4. 研究及び業務内容」に示す研究について幅広い見識を持ち、指導及び管理する能力を有すること。

#### 6. 提出書類 ※ (1) 以外は様式自由

- (1) 履歴書（写真貼付、[所定の様式](#)を使用） 1部
- (2) 研究業績目録（原著論文、著書、解説、口頭発表、競争的研究資金、学会・社会活動、Google scholar 等の論文被引用回数分かる URL（任意）） 1部
- (3) 主要論文別刷り（コピーも可）（5 編以内）、又は論文以外の業績説明書（5 点以内） 各 1部
- (4) これまでの研究概要または業務概要（A4 判 1～2 枚程度） 1部
- (5) 研究に対する抱負（A4 判 1～2 枚程度） 1部
- (6) 所見を求めうる方の推薦状 2通  
（2名の方から各1通とし、国立環境研究所職員以外からの推薦状を1通以上とする。  
なお、宛名は 15. (1)に記載された領域長とし、推薦者の氏名と連絡先を明記すること。）  
※提出書類の返却不可（選考後不採用となった場合は責任をもって処分します。）

#### 7. 応募締切

2024 年 12 月 4 日（水）必着 ※「9. 応募方法」を参照すること。

#### 8. 選考方法

書類選考及び面接審査による。書類選考の後、面接審査を行う者には連絡する。

面接は 2025 年 1 月 20 日から 21 日を予定。

※面接審査においては Teams 等による WEB 面接とする場合がある。

#### 9. 応募方法

電子送付による。電子送付方法については、以下のとおり。

○「6. 提出書類 (1) ～ (5)」について電子送付の方法について、11 月 20 日（水）

17 時までには必ず下記 15.(2)の担当者あてにメールでお問い合わせください。(メールで「6. 提出書類(1)～(5)」を送付するのは不可。)

その際、メールの件名を「R07-K-05 資源循環分野研究員応募」と記載してください。メールをお送りいただいた方に電子送付の方法についてご案内します。

○「6. 提出書類(6)」について

推薦者から下記 15.(2)の担当者あてに直接メールで送ること。

#### 10. 雇用予定時期

2025 年 4 月 1 日以降、出来るだけ早い時期の着任が望ましい。

#### 11. 雇用期間

2025 年 4 月 1 日着任の場合は、任期は最長で 2030 年 3 月末まで。任期の定めのない場合、その限りではない。

#### 12. 勤務地

つくば本部（茨城県つくば市）

（受動喫煙対策）屋内禁煙、特定屋外喫煙場所あり

#### 13. 処遇等

応募者の実績に応じ、テニュアトラック型任期付研究員またはテニュアトラック型任期付主任研究員として採用する。雇用期間中の業績等が優秀であれば、雇用期間終了とともにパーマnent研究員（任期の定めのない研究員）に採用する予定。なお、今回の採用選考に当たって、業績、経験が特に優秀と認められる場合は、任期の定めのない研究員（主任研究員級以上を含む。）としての採用もあり得る。

（試用期間）6 箇月（試用期間中の労働条件同一）

（勤務時間）裁量労働制

裁量労働制は勤務日に対象業務に従事した場合、1 日について 8 時間 15 分勤務したものとみなす。

（社会保険）国家公務員共済組合法、雇用保険法及び介護保険法の定めるところによる。

（その他就業関係）「任期付職員就業規則」、「職員人事規程」、「職員給与規程」及びその他関連規定により確認すること。

（参考）国立環境研究所基本規程 <http://www.nies.go.jp/kihon/kitei/index.html>

また、国立環境研究所の定める条件を満たせば、任期中に 6 箇月以上 1 年以内の海外派遣研修制度に応募することも可能。

#### 1 4. その他

本公募は科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律第 15 条の 2 の対象業務に該当する。

※科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律と労働契約法第 18 条の通算契約期間に関しては、以下を参照すること。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000488206.pdf>

#### 1 5. 問い合わせ先及び書類提出先

##### (1) 選考および研究内容に関する問い合わせ先

国立研究開発法人国立環境研究所  
資源循環領域 領域長 南齋 規介  
Tel 029-850-2889

E-mail : nansai.keisuke (半角で@nies.go.jp をつけてください。)

##### (2) 処遇等に関する問い合わせ先及び書類提出先

〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2  
国立研究開発法人国立環境研究所  
総務部人事課 杉本 崇行

Tel 029-850-2316

E-mail saiyo(半角で@nies.go.jp をつけてください。)

#### 1 6. 公募番号

R07- K-05